

いのちを大切に作るケアタウンおだわら

モデル事業が動き出しています

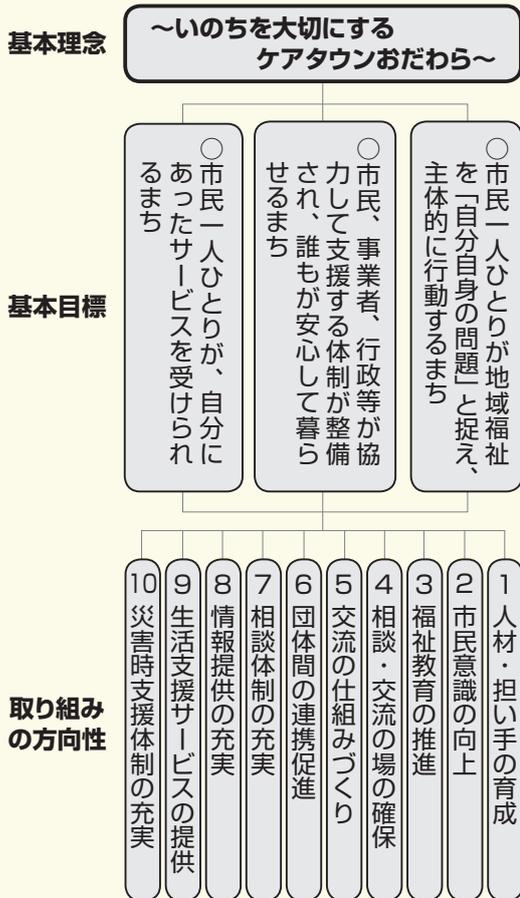
社会的に支援を必要としているかたを地域全体で支える仕組みづくりである「ケアタウン構想」。市内の5つの地区で動き出したモデル事業についてお知らせします。

福祉政策課 ☎331861

市では、高齢者、障害者、子育て家庭など支援を必要としているかたがたを、市民、事業者、行政などが一体となって支える仕組みづくり、ケアタウン構想を進めています。社会情勢の大きな変化に伴い、地域福祉の課題が複雑化・多様化する中で、誰もが安心して暮らすことができる、新たな支え合いの仕組みが必要となつてきているからです。

ケアタウン構想では、「いのちを大切に作るケアタウンおだわら」の実現に向けて、3つの基本目標と具体的な10の取り組みの方向性を掲げています。平成21年6月に設置されたケアタウン構想検討委員会から昨年3月に提言を受け、市や地域の関係団体で検討を重ね、現在、市内の5地区（東富水、早川、山王網一色、上府中、下府中）で、モデル事業が動き出しています。

ケアタウン構想の体系図



○東富水地区

「テーマ」支援が必要な高齢者等を地域で支える体制づくり

東富水地区では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、24時間365日対応の相談窓口を設置して、東富水地区の高齢者や家族からの相談に対応しています。また、昨年10月1日にオープンした「ふれあい処とらひひとやすみ」[※]では、専門スタッフが介護に関する相談を受けたり、情報提供をするほか、家に引きこもりがちな高齢者の交流の場として、足湯のサービスマや、コーヒー・紅茶、ランチサービス（有料）も行っています。また、男性の介護者を対象とした料理教室なども実施しています。

この事業は、国の「地域包括ケア推進事業」に位置付けられ、市が委託した社会福祉法人小田原福祉会が実施しています。学識経験者、地区自治会、地区社協、地区民児協、市福祉健康部の関係者で構成する「地域包括ケア推進事業検証委員会」が事業の進捗状況を検証していきます。



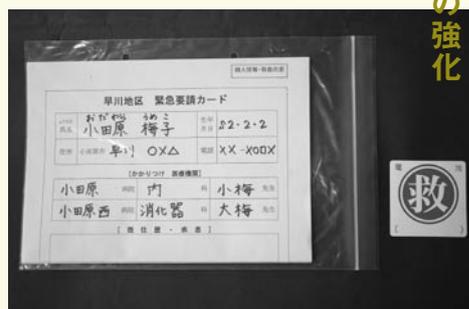
※ふれあい処 ひとやすみ
蓮正寺470-225
☎37-3737

○早川地区

「テーマ」高齢者の見守り体制の強化

早川地区では、地区社協、地区民児協、地域包括支援センター、市社協、市福祉健康部の関係者が2か月に1度のペースで、高齢者に関するいろいろな問題、課題をテーマに、検討会議を開いています。福祉関係者がそれぞれの立場で意見を出し、早川地区の高齢者が暮らしやすくなる仕組みづくりを検討しています。

この検討会議での議論をきっかけに、早川地区の主に75歳以上の高齢者を対象に「緊急要請カード」が配布されました。このカードに、かかりつけ医や持病などの医療情報や、連絡先を記載し、家に保管することにより、救急要請した際に、意思疎通が図れない状況



緊急要請カード(左側)に、氏名、かかりつけ医、連絡先などを記載し、保管します。右側のシールの下のかつこ内に緊急要請カードを保管した場所を記載。シールを目立つところに貼ることで、緊急時、救急隊員が駆けつけた場合などに、必要な情報を得られるようになっています。

でも、必要な情報を救急、医療機関が得られるようになっていきます。

地区の民生委員が担当地区内の高齢者宅を一軒一軒訪問し、カードについて説明しながら、高齢者の近況を伺いました。

○山王網一色地区

「テーマ」障害者と地域住民のふれあい活動

山王網一色地区では、市内東町の障害者サポートセンターを拠点に、多くの方が障害に関することをより身近な問題と認識し、障害のあるかたが地域の行事に参加したり、障害のない人たちと共に活動するために、どのような課題があるかを検討しています。

今年度は、主に自治会の役員、民生委員、



福祉ボランティアを対象に交流会などを行っています。昨年12月には、身体に障害のあるかたにもできるストレッチ体操の体験や、障害者サポートセンターの業務の説明会を開催しました。

今後、アイマスクを着けて食事をする「暗闇レストラン」、視覚障害者の体験談を聴く会の開催など、「障害者と地域とのふれあい活動」をテーマに意見交換会を行っていく予定です。

○上府中地区

「テーマ」地域住民による子育てサロン活動

上府中地区では、地区社協が中心となって、永塚公民館で「上府中子育てサロン」を開設しました。昨年10月26日にスタートし、毎月第2・4火曜日の午前10時から正午まで、就園前のお子さんを持つお母さん・お父さんが気軽に集い、話ができる場となっています。子どもたちが遊べるおもちゃも用意しています。

こうした場を地域の身近な場所で開くことで、子育て中の親子がつながるきっかけをつくり、孤独感、不安感、負担感を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを進めていきます。



○下府中地区

「テーマ」地域の居場所づくり

下府中地区では、川東タウンセンター・マロニエの一角を利用し、誰でも立ち寄れる地域の相談・交流の場づくりを進めています。福祉について相談事があるかたへの対応や、立ち寄った人も気軽に話ができる相談・交流の場の提供を目指しています。

現在、地区社協が中心となって、無理のない運営、実施体制、どういったボランティアのかたにお願いするかなどを検討しています。

5

つのモデル事業のテーマは、地区によってさまざまですが、いずれも「いのちを大切に育てるケアタウンおだわら」につながる取り組みです。

モデル事業の取り組みを踏まえ、そのほかの地区についても、それぞれの実情に即した取り組みを市民、事業者、行政が協働して進め、従来の枠組みを越えた新たな支え合いを実現し、安心して暮らせる「ケアタウンおだわら」を目指していきます。